

第40回各務原市地域公共交通会議 議事録

日 時	令和6年1月12日(金) 14:00~
場 所	各務原市役所 産業文化センター 8階第2特別会議室
委 員 (敬称略)	<p>【出席】(敬称略)</p> <p>小澤 秀彦 (名古屋鉄道株式会社地域活性化推進本部地域連携部付部長兼岐阜エリア担当/代理:小椋 浩一)</p> <p>相宮 一夫 (岐阜乗合自動車株式会社取締役営業管理部長/代理:宮部 敬輔)</p> <p>後藤 泰之 (名鉄バス株式会社運輸本部交通企画官)</p> <p>木村 治史 (公益社団法人岐阜県バス協会専務理事)</p> <p>石井 靖治 (岐阜交通東部株式会社代表取締役)</p> <p>小島 康史 (岐阜県タクシー協会岐阜支部支部長)</p> <p>正村 明 (岐阜乗合自動車労働組合執行委員長)</p> <p>五島 伸治 (蘇原自治会連合会長)</p> <p>小島 伸夫 (稲羽川島自治会連合会長)</p> <p>浜島 拓郎 (鵜沼自治会連合会長)</p> <p>清水 孝子 (八木山地区社協理事)</p> <p>渥美 宏 (中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官/代理:山田 慎児)</p> <p>明慶 幸司 (岐阜国道事務所管理第一課長)</p> <p>棚橋 典広 (岐阜土木事務所施設管理課長)</p> <p>柘植 清一 (各務原警察署交通課長)</p> <p>城戸脇 研一 (岐阜県都市建築部公共交通課長)</p> <p>各務 英雄 (各務原商工会議所専務理事/代理:永田 孝也)</p> <p>杉山 仁 (株式会社アイシン CSS カンパニービジネスプロモーション部移動サポートビジネスグループグループ長)</p> <p>川端 光昭 (岐阜工業高等専門学校准教授)</p> <p>今道 雄介 (各務原市副市長)</p> <p>【事務局】</p> <p>各務原市 産業活力部商工振興課</p>

・委員長あいさつ

・議事

- ①各務原市地域公共交通計画(2024~2030年度)の策定について
- ②ふれあいバスなどの改正について
- ③路線バス「各務原東部線」の廃止および「緑苑八木山線」の新設について
- ④令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について
- ⑤各務原市地域公共交通会議設置規約の改正について

・報告

- ①チョイソコかかみがはらの停留所廃止について
- ②運転免許証自主返納支援事業について

・その他

■委員長あいさつ

委員長（今道副市長） 挨拶

本日は、「第40回各務原市地域公共交通会議」に、ご出席いただき誠にありがとうございます。
令和6年能登半島地震により、当市からも延べ66名が被災地支援に行っています。道路寸断による孤立も発生しており、交通行政の重要性が問われています。日常の利便性だけでなく、生活を守るものとして公共交通と向き合う必要があると再認識しました。

今後も、地域を支える移動手段として、議事や各報告事項について、活発なご意見をいただきますようお願いいたします。

■議事

- ・議事① 各務原市地域公共交通計画（2024～2030年度）の策定について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><岐阜運輸支局 山田委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の不満割合について、目標値が22%未満となっているが、不満内容によっては実現可能な内容と実現不可能な内容がある。今後、運転不足により対応できない内容が出てくると考えるため、割合だけでなく、内容と分けて細かく整理することを考えてほしい。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不満内容は、ふれあいバス等懇談会などを通して把握している。便数や停留所を増やしてほしいという内容が多いが、すべてに対応することはできない。不満割合は市民アンケートを通して把握しているが、今後はアンケートの取り方や質問方法を検討する。
<p><岐阜工業高等専門学校 川端副委員長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を利用する人は不満を感じるが、利用しない人は感じないという観点から、不満割合が高まったために必ずしも悪いことであると判断することはできない。今後、利用する人のみに向けたアンケートをとってみたいかどうか。 ・公共交通機関別の利用者数内訳を表記しているが、モードごとに目標を定めているのか。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、今後アンケートを実施する際は対象と質問内容の変更を検討する。 ・人口減少による利用者減と高齢化に伴う利用者増の両面があることから、利用者数の推移の予測が難しいため、現在の水準をキープすることを目標としており、合計値で考えている。

- ・議事② ふれあいバスなどの改正について
特に意見なし

- ・議事③ 路線バス「各務原東部線」の廃止および「緑苑八木山線」の新設について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><岐阜工業高等専門学校 川端副委員長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新路線の運賃（一律260円）は、現行の運賃と比べるとどうか。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑苑団地線は180円と260円があり、260円での利用が7割を占めている。各務原東部線は、280円が最大であり、駅までの時間が現状より増えることを考慮し、少し下げて260円を設定した。

・議事④ 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について
特に意見なし

・議事⑤ 各務原市地域公共交通会議設置規約の改正について
特に意見なし

■報告

・報告① チョイソコかかみがはらの停留所廃止について
特に意見なし

・報告② 運転免許証自主返納支援事業について
特に意見なし

■総括

川端副委員長 総括・指摘事項

各務原市が国土交通大臣表彰を受賞したのは、熱心に取り組んだ関係者が尽力したプロセスが評価されたからだと考える。常に改善を検討し動き続け、コロナ禍において外出が制限される中で、「チョイソコかかみがはら」を導入した勇気のある行動に敬意を表したい。すべての交通モードを駆使してデザインしていくことが重要で、それを表したのが現在策定している「地域公共交通計画」である。委員の皆様には、もう一度よくご覧いただきて意見があれば事務局へお願いしたい。